

2020年度 冬季関東学生バドミントン選手権大会
「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」(第一報)

2020年12月24日
関東学生バドミントン連盟

【はじめに】

本大会開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する政府の措置、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」（スポーツ庁作成）、『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン』（日本バドミントン協会作成）、ならびに大会会場より求められる措置に従うことが前提となります。本大会では以下の事項を遵守します。

【感染の拡大防止のポイント】

1. 感染者（不顕性感染者含む）や体調不良者が絶対に大会会場に行かないこと。
2. 仮に感染者（不顕性感染者）が体育館に入館していた場合でも、他の者が感染しないこと。
本大会でクラスターが発生しないよう会場内では三密の回避、プレー中以外のマスク着用を徹底してください。
 - 口や目を覆わずに飛沫感染のリスクが生じる状況をつくらないこと。
 - たとえマスク着用時であっても、至近距離で15分以上の会話をしないこと

【本大会出場2週間前から前日（一部、当日）までの留意事項】

1. 本大会出場にあたり2週間前から下記の事項を行ってください。
 - **本大会出場2週間前から本大会前日までの健康チェックを行うこと。**
 - **大会出場最終日以後2週間の健康チェックを行うこと（大会後の体調不良についても、関東学生バドミントン連盟への申告が必要となる）。**
 - 日頃より感染リスクが高い行動を控え、特に本大会出場2週間前から大会出場最終日から2週間の行動に留意すること。この期間に、いわゆる濃厚接触に該当する可能性のある場面があったとき、それを記録しておくこと。
2. 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせてください。
 - 当日、あるいは2週間以内に体調がよくないことがあった場合（例：発熱・咳・倦怠感・味覚異常など）。
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

【本大会当日の留意事項】

- 当日の朝、関係者（選手・チームスタッフ・運営スタッフ）は各自で必ず検温を実施し、その上で入館時に非接触型体温計にて検温を実施します。**当日37.0℃(37.5℃ではない)以上ある場合、入場できません。**
- プレー中の選手を除いて常時マスクを着用してください。水分補給につとめ、熱中症には十分注意してください。
- 体育館入館時にアルコール消毒を行ってください。アルコール消毒液は大会本部で用意しますが、アレルギーのある方は各自ご用意ください。
- **本大会関係者（選手、チームスタッフ、運営スタッフ）以外は入場できません。大会会場における入場者数の制**

限がある関係から、入場可能な人数については出場者数や組み合わせが決定した段階で判断します。

- 受付は本部にて行います。各チームの代表者は入館後本部までお越しくください。その際、本大会出場のために必要となる書類一式を提出してください（詳細は2021年1月10日に掲載予定）。
- 導線、更衣室、食事・休憩・待機スペース・応援スペースについては、各会場の指示を厳守してください。
- **大会会場での飲食は厳禁です。**
- 大会会場外で食事をする際であっても、他者と対面で食事することは避けてください。
- 消毒液を持参して頂き、使用した座席等の定期的な消毒にご協力ください。

【アリーナ及び競技関係用具類に関わる留意事項】

- アリーナの出入り口は常時開放します。
- アリーナの出入り口に消毒液を配置し、入退場する際は手指にアルコール消毒を行ってください。（アルコールアレルギーがある方は、持参の消毒液で消毒をお願いします。）
- 各コートにアルコール消毒液を設置しておくので、選手の希望により適宜使用してください（床に手をついた場合や、シューズの裏を触った場合など）。
- コートサイドには、選手が使用するカゴを設置しません。各自バッグを持参し、飲み物もバッグに収納してください。
- コートのモップの柄はあらかじめアルコール消毒しておきますが、モップを掛けた後はコートに設置されたアルコール消毒液で手指消毒を行ってください。

【競技関係者及び競技中の確認事項】

- プレー中の選手以外は、必ずマスクを着用してください。
- 選手同士や審判員との握手は行わないでください。
- 試合前後はラケットによるソフトタッチを握手の代替として推奨します。
- シャトルの交換は、シャトルをコートサイドに重ねて置いておくので、交換時は上から取るようにしてください。適宜担当者がシャトルを補充します。使用後のシャトルは隣（カゴの中）に置くようにしてください。
- シューズの裏を手で拭かないように注意してください。無意識のうちにシューズの裏を触ってしまった場合は、選手の申告によりコートサイドに設置されたアルコール消毒液での手指消毒を認めることとします。
- プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わないようにしてください。
- コート内外に落ちた汗は、選手あるいは審判員がモップで拭き取り、自分のタオルで拭かないようにしてください。
- プレーヤーはゲーム中に大きな声を出さないようにしてください。
- コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行ってください。
- 試合後は審判員が必ずモップをかけてください。

【ゴミの処理について】

感染症拡大防止の観点から、各自持ち帰りをお願いします。

【その他の留意事項】

本大会関係者から感染者が発生した場合に備え、必要書類を提出していただきます。個人情報の取扱いには十分注意し、感染対策上必要な場合を除いて使用することはありません。

本大会終了後、関係者から新型コロナ感染が判明したとの報告があった場合や、会場周辺の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合には、速やかに開催自治体と連絡を取り、指示された対応策を講じることになります。

当ガイドラインの内容については、2021年1月10日を目途に次回更新予定です。

最終案は2021年1月23日を目途に提示する予定です。

本件についてのお問い合わせは、金子元彦 (mkaneko@toyo.jp: 関東学生バドミントン連盟常任役員・新型コロナウイルス感染症対策担当)までお願いします。

拝受のご連絡は差し上げる予定でありますが、一件ずつの対応はせずに一定数まとめて当連盟ホームページ上での回答や周知となることがあります。この点につきましてご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【以下のチェックリストは提出の必要はありませんが、安全に大会を行うためにご活用ください】

- 外出前に検温を行い、37.0℃以上ある場合や、体調がすぐれない場合には参加を中止する（棄権の時は会場に行かず、メールや電話等で伝える）。
- 観戦は、指定された場所で行い、席は移動しない。
- プレー中の選手を除いて常時マスクを着用する。
- プレーヤーはゲーム中に大きな声を出さない。
- プレーヤー同士やコーチとハイタッチ等の接触を行わない。
- ウォーミングアップは、距離を空けて行う。
- コートへの入退場時は一定の距離を保った上で、指定のコートに入る。
- 挨拶の際は十分な距離を取り、審判・選手と握手は行わない。
- コートサイドには各自バッグ等を持参し、飲み物も各自のバッグに収容する
- ラケット、タオルの貸借をしない。
- 汗をコート・コートサイドに投げることは絶対にしない。
- 汗拭きはモップもしくは所定の用具を使用し行う。
- 飲料を万が一溢したときにはモップで拭き取る（自身のタオルを使用しない）。
- シューズの裏を手で拭くことはしない。
- コーチングは一定の距離を保った上で、必要最小限に短時間で行う。
- 更衣室では着替えのみとし、シャワー・ロッカーは使用しない。
- 施設にある手指乾燥機は使用しない。
- 全てのゴミの持ち帰り自宅で処分する。

以上